

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年8月26日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年8月26日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【3号機タービン建屋大物搬入口付近でのろ過水漏えいについて】 当直員が免震重要棟集中監視室にて「3号機建屋漏えい監視盤異常」警報の発報を確認し、現場を確認したところ、3号機タービン建屋大物搬入口付近で作業用のろ過水供給用仮設ホースからの水の漏えいを確認。 漏えい量は、ろ過水タンクの水位減少分から約56m³と推定。 漏えいした水は回収、排水を実施済み。 ろ過水供給元弁が開いていたため、仮設ホースよりろ過水が漏えいしたものの。 応急措置として、ろ過水供給元弁にチェーンロック等の取付を実施済み。 今後、原因調査および再発防止策を検討する。</p>	G II	8月24日